

No. 1406

鈴木首相訪欧の旅

— 第 一 報 —

日本と欧州の友好関係を深めるため欧州歴訪中の鈴木首相は6月10日最初の訪問国西ドイツでシュミット首相と首脳会談を行った。会談を前にハンブルグ州迎賓館のテラスで歓談する日本・西独両首相。昼食をはさんで2回にわたって行われた会談では日本と西ドイツの両国が今後とも対話を深め、世界の平和と安全のため協力することで合意した。翌11日、鈴木首相は次の訪問国イタリアのチャンピーノ空港に到着。空港ではイタリアのコロンボ外相をはじめ政府関係者が一行を出迎えた。フォーロ・ロマーを見学する鈴木首相。古代ローマの遺跡が旅の疲れをいやす。12日、鈴木首相はクイリナーレ宮殿にベルチーニ大統領を表敬訪問、日本に国賓として招待した。この後フォルラーニ首相と会談、席上、鈴木首相は経済問題など幅広い意見を交換し、大きな成果を納め次の訪問国ベルギーに向った。

世界の巨匠版画展

— 静 岡 ・ 三 島 —

静岡県三島市にある佐野美術館でいま、「世界の版画、巨匠たち展——ゴヤから今日の幻想派まで」が開かれています。この展示会には世に自由に生きる野人と称される零三郎氏の美術コレクションの中から、近代西洋の版画を厳選し、ゴヤ、ロートレックなど85作家の約300点が展示されています。18世紀から今日にいたる作品を系統的に紹介するこの展示会は版画芸術の歴史とその稔り豊かな世界を知る上で絶好の機会と言えます。この展示会は6月28日まで開かれています。

日 本 の 防 衛

揺れる非核三原則

5月17日のライシャワー元駐日大使の“核持ち込み”発言は日本に大きな衝撃を与えた。(衆院・連合審査、5月29日)政府が持ち込みを打ち消せば、打ち消す程、アメリカ艦船の核積載疑惑が一段と深まる中で、6月5日空母ミッドウエーが母港の神奈川県横須賀基地に帰港した。2月下旬、中東海域に出港以来、3ヶ月半ぶり94回目の帰港、ミッドウエーは何ごともないかのようにその巨体を接岸した。岸壁には4500人の乗組員を迎える家族に混って、ミッドウエーを歓迎する二階堂総務会長ら14人の自民党代表の姿もあった。その頃、基地周辺では核持ち込み反対を叫ぶ革新団体と、ミッドウエー歓迎の市民集会と二つの相対する集会が開かれていた。総評の招きで来日した核の専門家、エルズバーク博士は、「空母が港に入る時、核を取りはずすことはない。核を積載していると考えるのが当然だ」と述べ、日本に核が持ち込まれていることを改めて指摘した。非核三原則から非核二・五原則あるいは非核二原則との声もきかれる今日、日本の防衛体制を巡って私たちは今難かしい選択を迫られている。